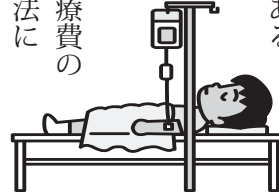


藤富 美恵子 議員

子供の医療費の無料化について

藤富 ゼロ歳から小学校6年生までの子供の医療費の無料化は、市長の「公約」である。

小学生の入院を対象に子供の医療費助成制度が始まっているが、五條市における医療費の助成に係る手続方法についてお尋ねする。



すこやか市民部長 本年8月1日

から、小学生の入院医療費まで拡大して助成する制度が始まった。乳幼児の医療費助成の手続方法は、県内の医療機関で受診した場合、窓口で健康保険証と受給資格証を提示して受診をし、医療費の自己負担分を一旦支払っていただき、後日、登録している口座に振り込む。また、県外の医療機関で受診した場合や、小学生が入院した場合、健康保険証を提示して医療費の自己負担分を一旦支払ってから、領収書を持参の上、保険課窓口で申請により、後日、医療費を口座に振込むことになっている。

藤富

隣の橋本市はどのような

っているか。

すこやか市民部長

橋本市では、

和歌山県内の医療機関で受診すると、窓口で保険証と受給者証を提示するだけで医療費の自己負担分を支払う必要がない。

また、和歌山県以外の医療機関で受診したときは、五條市と同じで健康保険証を提示して医療費の自己負担分を一旦支払ってから、後日、領収書を持参の上、市役所担当課窓口で申請すると、医療費が口座に振込まれる。

藤富 五條市も、橋本市と同じように立て替え払いをしなくても良い制度にすることはできないのか。

すこやか市民部長

奈良県では、

県単位で統一されており、五條市だけが自己負担を支払わなくても良い制度にするのは難しいのが現状である。

藤富 五條市単独で制度を変える

ことができないのであれば県や県内の他市町村に働きかけ、立て替え払いをしなくても良い制度にし、子育て世代の方々に、住みたい、住み続けたい、と言われる五條市にすべきである。

小学校6年生までの通院費の無料化についても、一日も早く実現していただきたい。

大谷 龍雄 議員

冬季における大塔町仮設住宅及び周辺の水道凍結対策について

大谷

本年の1月から2月において大塔町の仮設住宅と周辺の地域において水道水が凍結し、職員及び関係者が対応しているが、そのときどのような防止対策を行ったのか。また、これからの凍結防止のために、再度、水源地から給水弁までの点検と、仮設住宅を訪問しての要望聞き取りを行う必要があるのではないか。

都市整備部長

本年2月1日から4日にかけて零下10度から12度以下がり、大塔町仮設住宅10戸の給水管と星のくにの導水管が凍結した。このとき、貯水槽や受水槽が空になった。住宅担当課は、仮設住宅の床下をジェットバーナーで加温し、凍結した給水管を解氷するとともに受水槽に水を供給した。また、星のくにの貯水槽へは、財団法人大塔ふる里センターの職員が水道水の運搬を数日間続けた。凍結防止対策としては、仮設住宅の床下は板張りで隙間があり風が吹き込む状態であったので、奈良県に依頼し、給水管継ぎ手保温の補修を行い仮設住宅の床下周辺に

防寒シートを張ってもらった。星のくににおいては水源地からの水道管のバイパス管を敷設した。

(このほか、やまと広域環境衛生事務組合への加入に伴うみどり園の操業年限の延長のお願いや中継施設の設置、ごみの分別と減量化等を質問しました。)

”市議会だより”の写真を募集します

「市議会だよりGOJO」の表紙を飾っていただく写真を募集します。次号の3月1日発行分に合った季節感のある写真で、市内で撮影された、応募者のオリジナルのものをお願いします。

作品名とお名前・連絡先をご記入の上、平成25年1月18日(金)までにご応募願います。

- ・写真は、郵送・持参の場合はCD等のデータで、または、Eメール(g o j o - s h i @ w o n d e r . o c n . n e . j p)のいずれかをお願いします。
- ・ご応募いただいた写真は返却いたしません。また、謝礼もありません。
- ・掲載写真の著作権は作者にあり、使用权は五條市に帰属するものとします。